

※ プレスリリース用写真データ
写真を掲載する際には、下記の作品キャプションを併記してください。

プレス・リリース

平成23年度 企画展

第21回 日本陶芸展

JAPAN CERAMIC ART EXHIBITION 2011 XXI

C-1 (セラミック グランプリ)
CERAMIC GRAND PRIX

日本陶芸界の実力日本一を決める！

(キャッチコピー)

平成23年7月9日(土)～9月4日(日)



準大賞・日本陶芸展賞

「彩土器」(第2部)

五味謙二(岐阜県)



優秀作品賞・文部科学大臣賞

「糸抜き波状紋大鉢」(第1部)

三崎哲郎(千葉県)



大賞・桂宮賜杯

「彩刻磁鉢“瀝瀝”」(第1部)

石橋裕史(京都府)



特別賞・茨城県陶芸美術館賞

『Nerikomi Porcelain「モノクローム・エフェクト」』
(第1部)

室伏英治(静岡県)

茨城県陶芸美術館

IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地(笠間芸術の森公園内)
TEL 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012
<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

1 展覧会名

第21回 日本陶芸展

英名： JAPAN CERAMIC ART EXHIBITION 2011 XXI

キャッチコピー：C-1（セラミック グランプリ CERAMIC GRAND PRIX）
日本陶芸界の実力日本一を決める！

2 開催趣旨

A：一言でいうと(98字)

日本陶芸展は実力日本一の陶芸作家を選定することを目指して、1971年から隔年で開催されてきました。第21回を迎える本展は、公募作品から選ばれた135点に招待作品13点を加えた148点を紹介します。

B：もう少し丁寧にいうと(188字)

日本陶芸展は、会派や団体にとらわれない実力日本一の陶芸作家を選定することを謳い、1971年から隔年のビエンナーレ方式で開催されてきました。第21回を迎える本展は、伝統・自由造形・実用の公募部門に応募された725点の作品から選ばれた135点と、重要無形文化財保持者(人間国宝)を含む招待部門作品13点による合計148点を展示し、現代日本陶芸の最高水準を示す力作を紹介いたします。

C：詳細にいうと(498字)

今回で第21回を迎える日本陶芸展は、1971年に創設され、隔年のビエンナーレ方式で開催されてきました。会派や団体にとらわれない実力日本一の陶芸作家を選定することを謳って設立され、歴代の大賞受賞者から松井康成など重要無形文化財保持者(人間国宝)として活躍した作家を輩出してきました。当時の審査員には川端康成、白洲正子といった著名人も名を連ねていました。

本展覧会は、公募部門と招待部門で構成されています。公募部門は伝統部門(伝統を踏まえた創作作品)、自由造形部門(用途にとらわれない自由な造形による作品)、実用部門(民芸・クラフト・プロダクトなど用途を持つあらゆる実用的な陶磁器)の3部門に分かれ、今回は725点の公募作品から135点が選ばれました。大賞・桂宮賜杯受賞者の石橋裕史氏(京都府)は、第17回展(2003年)に次ぐ2度目の大賞受賞という本展初の快挙を成し遂げました。特別賞である茨城県陶芸美術館賞は、室伏英治氏(静岡県)が受賞しました。招待部門では、重要無形文化財保持者(人間国宝)鈴木蔵氏の作品を含む13点を展示し、合計148点により現代日本陶芸の最高水準を示す力作を紹介いたします。

3 展示構成

招待部門：重要無形文化財保持者を含む実行委員会推薦のベテラン作家
公募部門：第1部 伝統部門、第2部 自由造形部門、第3部 実用部門

4 主催等

主催 茨城県陶芸美術館・毎日新聞社
後援 文化庁・NHK水戸放送局・茨城新聞社
特別協賛 TOTO
協力 シンリュウ

5 会期

平成23年7月9日(土)から9月4日(日)まで 50日間

6 開館時間

午前9時30分から午後5時まで(入場は午後4時30分まで)

7 休館日

月曜日 ただし、7月18日(月・祝)は開館、翌19日(火)休館。

8 会場

茨城県陶芸美術館 地階企画展示室

9 観覧料

一般700(550)円 高大生500(400)円 小中生250(200)円
()内は20名以上の団体料金。満70歳以上の方、障害者手帳・療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方(ただし1人につき1人まで)は無料。夏季休業期間を除く土曜日は高校生以下無料。

10 関連行事

○受賞者と金子賢治館長による鼎談(仮称)
平成23年8月21日(日) 石橋裕史氏(大賞・桂宮賜杯受賞者)
室伏英治氏(茨城県陶芸美術館賞受賞者)
金子賢治(当館館長)

○入選作家によるワークショップ
平成23年8月7日(日)
講師：三崎哲郎氏(文部科学大臣賞受賞者)

※詳細については後日ポスター、チラシ、ホームページ等でご確認ください。

11 連絡先

茨城県陶芸美術館
〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地(笠間芸術の森公園内)
TEL 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012
展覧会担当 学芸課主任学芸主事 栗原信雄(くりはら・のぶお)
E-Mail kurihara.nobuo@post.ibk.ed.jp
広報担当 企画管理課副主任学芸主事 田村美穂子(たむら・みほこ)
E-Mail kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

12 ホームページ

<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

13 次回展ご案内

「追悼 人間国宝 三代徳田八十吉展 ～煌めく色彩の世界～」9月23日(金)～11月27日(日)